

セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE SUMMER

ルカ新聞

No.21
2010.6.



ワイキキ(ハワイ)

これは不妊症といわれていたエリザベトが洗礼のヨハネを生んだとき、その父、ザカリアのヨハネについての預言です。聖書には「ヨハネ」という名がいくつも出できます。英語の「ジョン」です。このヨハネはあのイエスキリストに洗礼を受けた方です。この「ヨハネがイエスに先立つて道を整え、それによつてイエスは全人類を救う道を作りました。暗闇が明るく照らされ、平和に導かれるにはこのようにヨハネのような道を整え、準備をする」者の力が必要です。何事も困難が解決されるにはたった一人の力だけではなく、みんなの力があわさって、成し遂げられるのです。チーム・ワークです。私たちの生殖医療という分野は、今までにない新しい医療のスタイルがあります。医師、看護師の力はもちろん、ラボ（胚培養士）、受付、心理士、情報処理、厨房、そして外部の方々による倫理委員会などなど、それらの力が合わさつて、結論に到るのでです。そして忘れてはならないことは、見逃してならない言葉は、それらはみな「われらの神の憐れみの心にようて」導かれているということです。われわれが努力するのは、その神のお導きによつてそこまでできているのです。そこに気付くと本当にありがたく、また安心します。大丈夫、きっといい方向にいくから、と言つてくださいね」と信じましょう。

「幼子よ、お前はいと高き方の預言者と呼ばれる。主に先立つてゆき、その道を整え、主の民に罪の赦しによる救いを知らせるからである。これはわれらの神の憐れみの心による。この憐れみによつて、高い所からあけぼのの光がわかれらを訪れ、暗闇と死の陰に坐している者たちを照らし、我らの歩みを平和の道に導く。」

ルカによる福音書、1章76節～79節

柘 さ

榴 くろ



巻頭言

院長 宇津宮 隆史

当地にセント・ルカ産婦人科を開院して18年になります。このたび、イエス様のお導きによって、大分駅南口より歩いて2分の場所に新病院を建設することにしました。そこで忘れないようにそのいきさつを残したいと思います。3人の子供たちがそれぞれ独り立ちしたのが3年前、親として安心したのも束の間、今度は自分の目標がなくなったことに気がつきました。子供を育て上げることが無意識下に大きな存在であったことを実感したものです。さて、今後の目標は何か。ネパールで半分、日本で半分医師として働く（ネパールは毛沢東派で最近は物騒）、飛行機の免許を取る（誰も一緒に乗ってくれないだろう）、まだ走破していない北アルプス雲ノ平中心縦走を行う（2週間あればよい）、ヨーロッパアルプスト

レッキング（10日あればよい）、地中海クルーズ（退屈そう）などなど。どれも魅力的ではあるが、長続きはしないでしょう。それから1年後、午前の診療が終わり昼休みに入るとき、処置室を通り、ナースの入院の説明を受けていた患者さんの「その日は足の便が悪くて…」という声が聞こえました。「そうか、このセント・ルカは通院に不便なのだ」と思いました。大分県の不妊治療は全部責任を持ってやる、と意気込んでいましたが、中には交通の便が悪くてここに来れない人が取り残されていると思いました。その日の午後は休診だったので、駅周辺を視察に出かけました。するとちょうど良い広さの空き地があり、2軒の不動産屋さんの管理地のようで、連絡先もあり、その場で双方に電話すると可



能性がありました。そこで税理士とも相談し ('09.5.21)、話を進め、2009年7月14日には調印となりました。それからも林浩治経営会計事務所、大分銀行、株式会社センバの方々のおかげで話は順調に進み、4回の設計コンペを経て、株式会社ヴィン設計工房の小田健設計士にお願いすることになりました。小田氏はともにIVF大阪クリニックや福岡山王病院への見学にも同行してくださり、設計前半 ('09.10～'10.4) では毎週2～3回は病院に来ていただき、各セクションのスタッフと打ち合わせを何度も行ってくれました。コンセプトは「患者さんが待合室に入ってきてほっとできる場所、また診療が終わって帰るとき、もうひと時ここにいたいと思える空間」「今考えられる臨床生殖医療に必要なすべてを備えた設

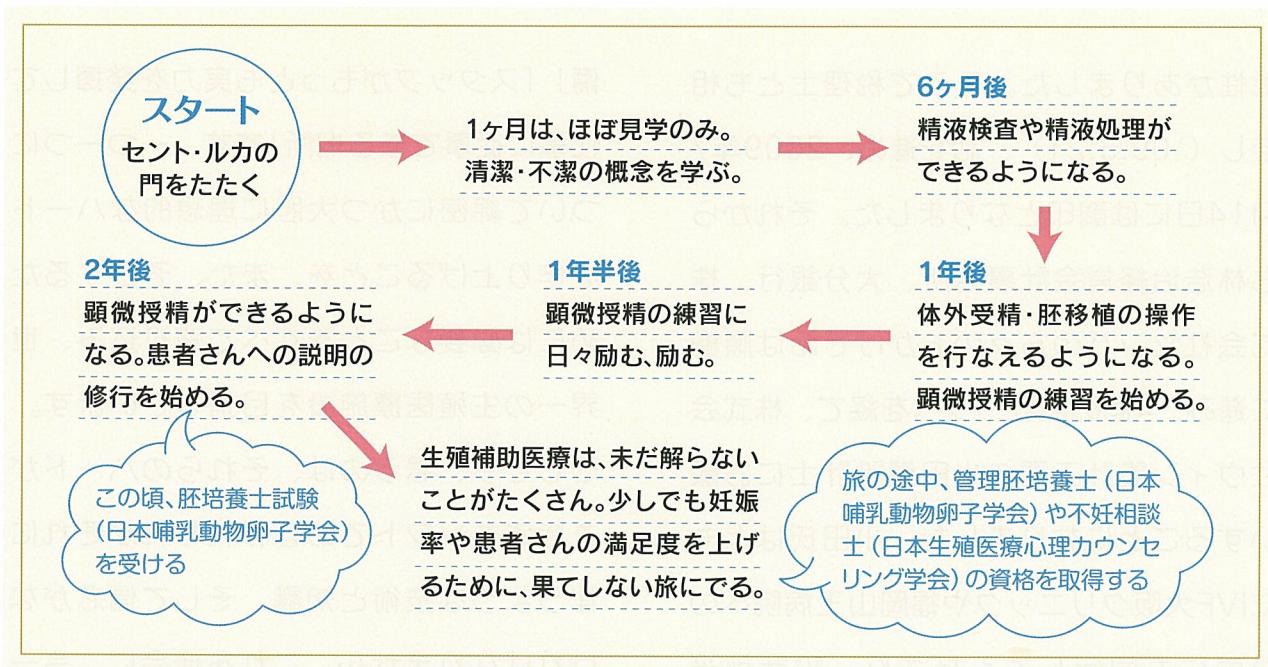
備」「スタッフがもっとも実力を発揮して仕事に従事できる場所」です。一つ一つについて綿密にかつ大胆に理想的なハードを作り上げることを、また、そうするためには必要なことをすべて盛り込み、世界一の生殖医療施設を目指しています。そして今、思うのは、それらのハードができるでもソフトであるわれわれがそれに伴うような技術と知識、そして信念がなければなりません。これを機会に、今一度、「セント・ルカ産婦人科の生殖医療」を構築しなおすつもりです。

研究室・培養室だより。

セント・ルカの 胚培養士への道のり

先日、患者さんから、「培養士さんってどうやってなるの?」と質問をされました。今年は、久しぶりに新人さんも迎えたことですし、当院の胚培養士への道のりを紹介したいと思います。

現在、当院の培養室スタッフは8人です。そのうち生物系大学(農学部や工学部)出身者と検査技師の資格を持ったスタッフがいます。それぞれ勉強してきたことは違いますが、共通点は生命への畏敬の念を持っていることです。その気持ち以外は、まったく真っ白の状態でセント・ルカの門をたたきました。以下には、当院での教育チェックリストの流れをご紹介します。



上の写真は、体外受精の胚を患者さんに移植するところです。無事に育て!!と心をこめる瞬間です。

このほかにも、勉強することはたくさんです。患者さんの大事な配偶子を扱う仕事なので、胚培養士としての倫理観を養うことも大変重要です。技術的には顕微授精が出来るようになるまで2年以上かかることがあります。意識の向上は限りなく続けていく必要があるのです!



現在セント・ルカ培養室スタッフの平均勤続年数は10年で、他の施設では類をみないベランぞろいです。

看護部だより

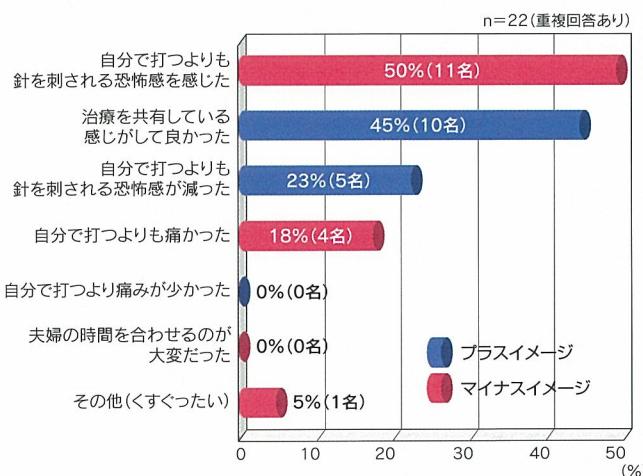
排卵誘発剤の自己注射に対する夫婦間の意識調査

～配偶者(夫)による排卵誘発剤の自己注射を推奨して～

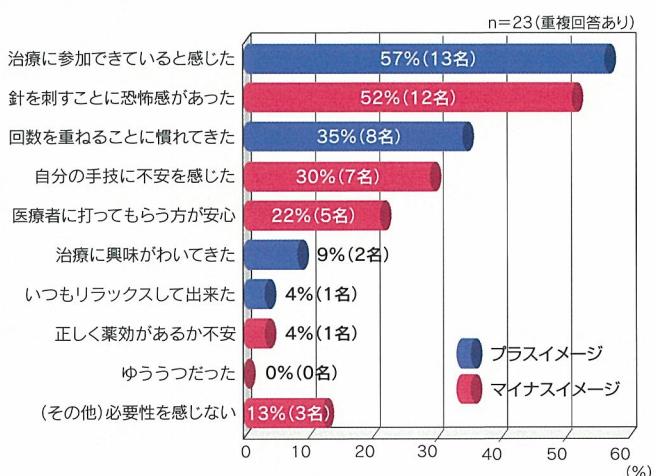
看護部 井澤 里砂

不妊治療を行っているという気持ちを夫婦間で共有する1つの方法として、夫による在宅自己注射を推奨し、夫婦間の治療に対する意識の変化を質問紙にて調査しました。

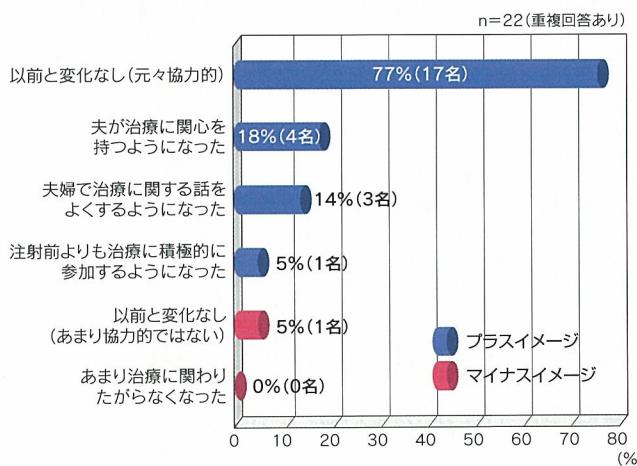
女性へ 夫から注射を受けてみてどうでしたか？



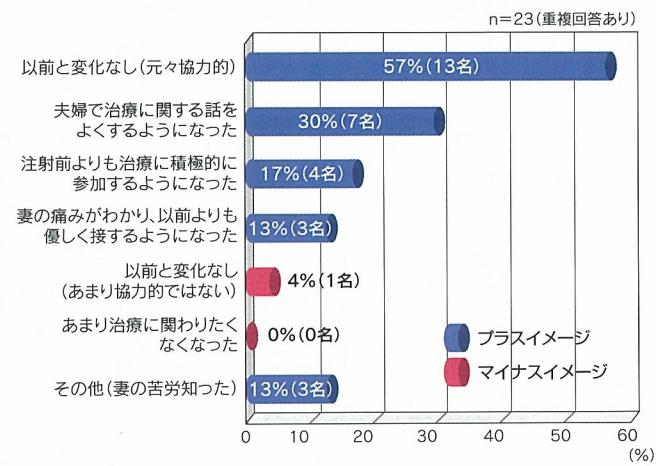
男性へ 妻へ注射をしてみてどうでしたか？



女性へ 夫に自己注射をしてもらうようになり、夫の治療に対する考え方や態度は変わりましたか？



男性へ 妻に注射を行うようになって、あなたの治療に対する考え方や態度は変わりましたか？



在宅自己注射を夫に施行してもらうようになり、「夫婦で治療に関する話をよくするようになった」「夫が治療に関心を持つようになった」などの意見が聞かれたことから、夫に注射を施行してもらうことは、夫婦で治療を共有するきっかけになったと考えられます。

夫婦ともに夫による在宅自己注射を望む気持ちがあるものの、手技的な恐怖心や不安があるために、実施が難しい面がみられました。この調査後、ご夫婦が安心して注射を実施していただけるように、ご夫婦で参加できる「注射説明会」を始めました。どうぞご参加下さい。

心理相談室より

一人で悩んでいませんか？

- これから治療をどうしよう
- なんだか不安で落ち着かない
- イライラしたり落ち込んだりする
- そろそろ治療を止めた方が…と迷っている
- パートナーとなんなくしつくりこない
- その他…なんだかストレスがたまっている 等



人に話すことで気持ちがすっきりしたり、なんとなくもやもやしていたものが整理されたりすることがあります。

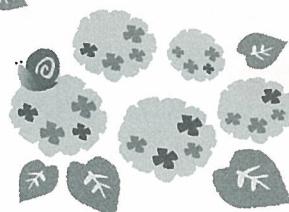
どうぞお気軽にご利用ください

……相談してみてもいいなと思う方は、看護師、受付スタッフに声をかけてください……
〔料金:一回一時間を目安に1370円(体外受精の方は無料)〕

受付より

紫陽花のきれいな季節になりました。

さて、2009.4.1～2010.3.31まで当院を通して不妊治療助成金が交付された金額が集計されましたので受付より報告いたします。



	人 数	申 請 回 数	助 成 金 額
大 分 県	72	126	18,140,720
大 分 市	205	312	55,582,900
他 県	8	10	1,500,000
県と市両方	52	57	13,726,440
大分市以外	4	5	410,680
合 計	341	510	89,360,740

2009年7月より、大分県の助成額が1回の治療につき10万円から15万円に引き上げられ、8月より、豊後大野市が従来の助成に加え、一般不妊治療の保険適用分に限り5万円を限度に通算5年間の支給が追加、10月より、大分市が2回目申請の助成額が10万円から15万円に引き上げられました。

助成金申請の書類のお預かりは、年度末になると大変混み合います。

申請可能な方は、出来るだけ早めに受付まで持って来て下さい。

皆様、ご協力をよろしくお願い致します！

3rd Congress of the Asia Pacific Initiative on Reproduction (ASPIRE 2010)

Pattaya Thailand
9~11 April 2010



タイ王国、パタヤ市で開催された、アジア不妊学会に参加させていただきました。バンコクでデモがあり、急遽会場変更となりましたが、無事に参加することができました。宇津宮院長は、シンポジウムで「PGDとエピジェネティック」という演題で当院での着床前診断の現状とエピジェネティックな変化を考慮した研究をご講演されました。



研究室からは2演題のポスター発表を行ないました。発表キャンセルもあったようですが、約100演題のポスターが登録されていました。

タイ、マレーシア、インドネシア、インド、韓国、中国など、アジア各国からのポスターは海外出張のなかでも珍しいもので、アジアの空気を感じる色とりどりのポスターでした。

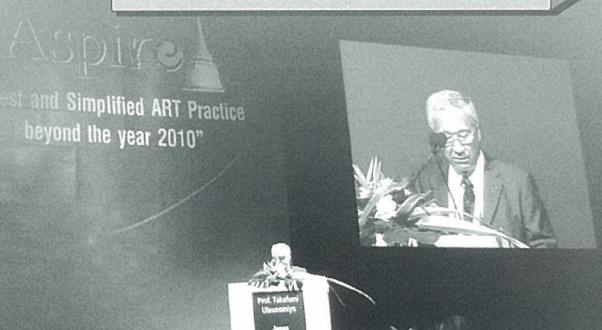
今回の学会参加で、日本はアジアの生殖医療をリードしていると改めて感じました。

The Evaluation of the pregnancy rate and of DNA methylation status of children that were born by In Vitro Maturation.

IVMで出産児の臍帯血のメチル化状態は治療無しに出産した児のそれと変わりはなかった。

Clinical efficacy of a novel evaluation method with measurement of embryo oxygen consumption rate using a scanning electrochemical microscopy

呼吸量の高い胚を移植することで妊娠率が向上した。分割数によって呼吸量に異なる傾向が認められた。



NEW
職員紹介

金子 奈央 (研究室)
毎日、緊張感のある職場で、優しい先輩方のご指導の元多くのことを学んでいます。慣れない大分暮らしだすが、患者さんの力になれる一人前の胚培養士を目指して頑張ります!よろしくお願いします。



油野 亜由美 (厨房)
初めての事が多く、覚えることがたくさんあります。
早く覚えて、美味しい料理を提供できるよう一生懸命頑張ります。



坂本 順子 (看護部)
産婦人科は初めてで毎日戸惑う事ばかりですが、がんばります。
よろしくお願いします。

山下 久美 (看護部)
5月から採用していただきました。
玄関に貼っているたくさんの写真を見て、私もその幸せのお手伝いができるようになりたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。

2010年 前期を振り返って

01.05 新年会(セント・ルカ多目的ホール) 01.08 河邊外来<診療内容:一般不妊治療(再診のみ)・更年期・婦人科・思春期>開始 01.08 株式会社パズラボ「ジネコ」取材 01.09 第45回 新患教室 参加者60名 参加 <佐藤、手島、深田、足立直、後藤裕、上野> 01.12 第130回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 01.16 第153回 体外受精教室 参加者46名 参加 <岡田、井澤、二宮> 01.16 第6回 第6期オリーブの会 参加者7名 01.18 新職員 池田香澄さん(看護部) 01.19 大分県地域保健支援センター(大分)参与 谷口一郎先生ご講演のためご来院 ご講演:「子宫頸がんの病態とHPVワクチン」 ISO9001内部監査キックオフミーティング 01.19 院内全体研修:防災訓練「緊急連絡網の確認」(担当:培養室・検査室) 01.21 非配偶者箇フォローアップ会議(東京) 参加 <上野> 01.23 第7回 日本生殖医療心理カウンセリング学会学術集会(東京) 参加 <小池、城戸、後藤裕、指山、院長> 発表:「排卵誘発剤の自己注射に対する夫婦間の意識調査 ~配偶者(夫)による排卵誘発剤の自己注射を推奨して~」(井澤里砂) 「治療終結期の意思決定に対する患者の心理 ~治療終結を決意した元患者を囲む会』の語りから~」(上野桂子) 01.26 院内全体研修:言葉の流れ(2担当:受付) 01.30 第41回 ガーネットサークル OG1名、参加者4名	04.21 内閣府特命担当大臣 福島みずほ議員へ不妊治療費助成金制度の条件撤廃に関する陳情書提出(東京) 参加 <院長> 04.24 第156回 体外受精教室 参加者58名 参加 <金子、坂本、手島、井澤、二宮> 04.24 第6回 ご夫婦二人生けの人生を選ばれた元患者さんを囲む会 参加者6名 JISART非配偶者箇生殖医療委員会(福岡) 参加 <院長> 04.24 第133回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 04.27 第10回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員:上野徳美先生(大分市医学部医学科社会心理学 教授)、 蔣俊一先生(おがた泌尿器科医院 院長)、近藤邦子先生(別府平和園 保育士)、 指山実千代(セント・ルカ産婦人科 看護部顧問)、 野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師) (五十音順)

02.06 第46回 新患教室 参加者46名 参加 <大津、手島、深田、足立直、後藤裕、上野> 02.09 第131回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 02.13 第154回 体外受精教室 参加者65名 参加 <岡田、井澤、二宮> 02.13 第7回 第6期オリーブの会 参加者5名 参加 <岡田、井澤、二宮> 02.13 第5回 2009年度(第3期)不妊相談士(不妊コンサルタント)養成講座(東京) 講師:上野桂子 参加 <関> 02.15 新職員 松吉律見さん(看護部) 02.20 第13回 胎児遺伝子診断研究会(東京) 参加 <城戸、大津、院長> 発表:「ヒト未熟卵体外成熟培養(IVM)の成績と 出産時に採取した臍帶血のメチル化インプリントの解析」(佐藤晶子) 02.21 日本生殖再生医学会 第5回 学術集会(東京) 参加 <城戸、院長> 発表:「ヒト人工多能性幹細胞(iPS)細胞のゲノムインプリントングの解析」(佐藤晶子) 02.23 第101回 大分県周産期研究会 参加 <山路、平松、工藤、佐土原、西郡、足立小、越名、城戸、大津、長木、松吉、 相澤、川村、井澤、二宮、足立直、赤嶺、篠田、後藤裕、指山、上野、院長> 発表:「ヒト未熟卵体外成熟培養(IVM)の成績と 出産時に採取した臍帶血のメチル化インプリントの解析」(佐藤晶子) 「治療継続のサポートのあり方」～初診時から半年以内～(関こずえ) 福岡山王病院(福岡)副院長 中村元一先生 腹腔鏡下子宮筋腫除出術手術指導のためご来院 第30回 JISART理事会(東京) 参加 <院長> 第6回 2009年度(第3期)不妊相談士(不妊コンサルタント)養成講座(東京) 参加 <関> JISART審査員研修(東京) 参加 <工藤、越名、後藤裕、院長>	05.01 新職員 山下久美さん(看護部) 05.01 第48回 新患教室 参加者50名 参加 <金子、後藤香、山下、坂本、手島、足立直、関> 05.08 第6回 九州産婦人科内視鏡手術研究会(福岡) 参加 <深田、井澤、越光、篠田、河邊> 発表:「拳銃希望患者に対するLaparoscopic myomectomy(LM)と 2-hd look laparoscopy(2-hd)の所見について」(院長) 05.09 第67回 日本生殖医学会九州支部会(福岡) 参加 <越光、篠田、上野> 第1群[心理・看護]座長:院長 発表:「移植胚選別困難例における胚呼吸量測定の有用性」(後藤香里) 「当院におけるIVM培養と臨床成績について」(熊迫陽子) 「近親者の妊娠を知った不妊患者の心情」(深田留美) 「排卵誘発剤の自己注射に対する夫婦間の意識調査 ~配偶者(夫)による排卵誘発剤の自己注射を推奨して~」(井澤里砂) 「当院の卵巣過剩刺激症候群(OHSS)回避への対策」(院長) 第134回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 第157回 体外受精教室 参加者35名 参加 <金子、大津、山下、岡田、二宮> 第10回 第6期オリーブの会 大分県立看護科学大学(大分)講義 参加 <山路、平松、金子、山下、坂本、手島、相澤、足立直、指山> 講義:「不妊講座」(院長) 05.11 第2回 JISART心理教育セミナー(宮城) 参加 <上野> 05.15 第3回 JISART事務教育セミナー(宮城) 参加 <西郡、越名> 05.19 第4回 JISARTラボ教育セミナー(宮城) 参加 <佐藤、熊迫> 第7回 JISART看護教育セミナー(宮城) 参加 <後藤裕、河野> 第31回 JISART理事会(宮城) 参加 <院長> 05.23 JISART出版計画・編集委員会 ミーティング(宮城) 参加 <院長> 05.23 第8回 JISARTシンポジウム(宮城) 参加 <西郡、越名、佐藤、熊迫、後藤裕、河野、上野、院長> ISO9001マネジメントレビュー 第42回 ガーネットサークル 05.25 第8回 日本哺乳動物卵子学会培地開発委員会(新潟) 参加 <院長> 05.29 日本哺乳動物卵子学会(新潟) 第51回 日本哺乳動物卵子学会(新潟) 第1群 卵成熟: ICSI(1)座長:院長 発表:「選択的單一胚移植(e-SET)におけるday3胚の呼吸量測定の試み」(小池恵) 「マウス卵子での加齢によるタンパクの変化」(大津英子) 05.29 第5回 大分滅菌および感染対策研究会(大分) 参加 <二宮、関>
---	---
03.01 新職員 坂本順子さん(看護部) 03.03 株式会社パズラボ「ジネコフリーマガジン夏号」取材 03.05 日本経済新聞「不妊治療における経済的負担」電話取材 03.06 第8回 第6期オリーブの会 参加者6名 参加 <佐藤、手島、深田、足立直、後藤裕、上野> 03.09 金沢医科大学生殖周産期医学(石川) 富澤英樹先生研究のためご来院 03.13 第132回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 第41回 「赤ちゃんへ今ならきっと授かる~」講座(大分・トキハ会館) 参加者84名 講師:後藤裕(看護師長)、上野(臨床心理士)、院長、 おがた泌尿器科医院 緒方一先生 参加 <山路、西郡、足立小、長木、坂本、手島、相澤、深田、足立直、指山> 診療報酬改正に伴う県下一県育成会(大分) 参加 <佐土原、西郡、足立小、越名> 第3者との関わる生産技術について考える会立ち上げ集会(東京) 参加 <篠田、後藤裕、上野、院長> 03.18 株式会社メディエンス代表取締役社長 池上文尋氏 オールアバウトジャパン不妊治療ガイド 取材のためご来院 03.20 年平成22年4月法改正 窓口対応ソート変更説明会(大分) 参加 <足立小、越名> 03.26 第155回 体外受精教室 参加者63名 参加 <坂本、手島、井澤、二宮> 03.27 セント・ルカ産婦人科&メティック・ルカ合同お花見(大分・平和市民公園) 03.30 院内全体研修:心肺蘇生法について(担当:研究室・培養室) 講師:救命士 二宮良次先生、曾宮尚文先生	06.02 株式会社パズラボ「ジネコフリーマガジン秋号」取材 06.06 第17回 セント・ルカセミナー 講師 松本亜樹子先生 「NPO法人Fine ~現在・過去・未来の不妊体験者を支援する会~ 代表」 「不妊治療患者の負担を考える~当事者のアンケートから~」 講師 村瀬嘉代子先生 「北翔大学大学院 人間福祉学研究科 教授」 「『いいのち』を受けるためのということ」 講師 森崇英先生 「京都大学名誉教授、NPO法人生殖再生医学アカデミア 理事長」 講師 有馬隆博先生 「東北大未来医工学治療開発センター 准教授」 「生殖補助医療とインプリントング異常(仮)」 講師 荒木康久先生 「高度生殖医療技術研究所 所長」 「未成熟精子細胞は、どこまでARTに有効か」 講師 大月純子先生 「永井クリニック 体外受精室長」 講師 山縣一夫先生 「理化学研究所神戸研究所 発生・再生科学総合研究センター」 「ライプセルイメージングを用いた哺乳動物初期胚のクオリティー評価」 (プログラム順)
---	---
04.01 女性のための健康生活マガジン『ジネコ』Jineko.net/ 春号(Vol.5)記事掲載 新職員 金子奈央さん(研究室・培養室) 日本生殖医療心理カウンセリング学会 不妊相談士(不妊コンサルタント)認定(看護部:関こずえ) 第31回 大分市医師会産婦人科 内分泌・不妊・代謝~懇話会 参加 <山路、平松、工藤、佐土原、西郡、足立小、越名、金子、佐藤、城戸、後藤香、熊迫、 大津、手島、川村、井澤、二宮、足立直、齊高、赤嶺、越光、関、指山、上野、河邊> 「PGD and Epigenetics in reproduction」(院長) 「喫煙と健康障害」(大分労働衛生管理センター 所長 宮川勇生先生) 第47回 新患教室 参加者65名 参加 <金子、佐藤、坂本、相澤、川村、深田、後藤裕、足立直> 福岡山王病院(福岡)手術見学 参加 <越光、関、河邊、院長> 3rd Congress of the Asia Pacific Initiative on Reproduction(Thailand) 講演:「PGD and Epigenetics in reproduction」(院長) ポスター発表:「The Evaluation of the pregnancy rate and of DNA methylation status of children that were born by In Vitro Maturation」(佐藤晶子) 「Clinical efficacy of a novel evaluation method with measurement of the embryo oxygen consumption rate using a scanning electrochemical microscopy」(熊迫陽子) 第3回 別府遺伝医学セミナー(別府) 参加 <城戸、大津> 第9回 第6期オリーブの会 参加者3名 日本哺乳動物卵子学会常任理事会(東京) 参加 <院長> 新職員 野油亞由美さん(厨房) 院内全体研修:統計解析について(情報処理室) 講師:救命士 二宮良次先生、曾宮尚文先生	06.08 第135回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 06.12 第49回 新患教室 06.13 JISART施設認定審査 審査員 <後藤裕、上野> 06.19 第158回 体外受精教室 06.19 第11回 第6期オリーブの会 06.27 26th ANNUAL MEETING ESHRE 2010(Italy) 参加 <城戸> 発表:「Infertility patient's mental health condition using the Cornell Medical Index」(後藤裕子/指山実千代) 「Measurement of oxygen consumption rate of embryos to select the best embryo for e-set」(院長)

妊娠報告件数

(2009.12.1~2010.5.31)

体外受精、顕微授精等

108件

*

その他(体外受精以外)

78件**計 186件**

編集後記

ASPIREが開かれたタイのパタヤでは、パンコケで暴動が起こっているとは思えないほど穏やかにすごせました。会場のあるロイヤル・クリフ・ビーチホテルから車で20分ほど走ったところには「タイのサグラダ・ファミリア」とも言われている世界最大級の木造建築がありました。建築中ですが、たくさんの方々が彫られていました。アジアの学会には初めて参加させていただきましたが、アメリカやヨーロッパとは異なる風景や文化に触れることが出来、良い思い出になりました。機会があれば、また行きたいと思います。(A.S.)

